



重要文化財 玉置神社社務所及び台所 保存修理現場 見学会

◆日時 令和7年 9/26(金)・27(土)
10:00~16:00 受付終了15:30

事前申込不要
見学無料

◆荒天時:中止



※開催の可否については
前日17時時点の天候予報と降水状況を判断し、奈良県HPに掲載します。
←奈良県HP

◆場所:

- 玉置神社境内 社務所及び台所素屋根内
- 奈良県吉野郡十津川村玉置川1番地
- 駐車場あり
- 公共交通機関なし



27日(土)は駐車場が
大変混雑いたします
26日(金)の御来場が
おすすめです



共同主催: 玉置神社 / 奈良県
問い合わせ: 奈良県文化財保存事務所 玉置神社出張所
奈良県吉野郡十津川村猿飼274番地

電話 0746-64-0020(前日まで)
0746-64-1530(当日)

【注意事項】

- ◆当日貸出するヘルメットを着用して入場ください
- ◆ヒールの高い靴等での入場は禁止です
- ◆小学生以下は保護者同伴でのみ入場可能です
- ◆写真撮影は可能です（ただし、三脚・脚立等を用いての撮影は不可。）
- ◆動画撮影は禁止です

【建物の概要】

◆名称

重要文化財玉置神社社務所及び台所 1 棟

◆構造形式

〔社務所〕 桁行 22.0m、梁間 15.9m、一重、入母屋造、西面唐破風付、東面及び西面突出部附属、地階付、銅板葺

〔台所〕 桁行 9.0m、梁間 8.9m、一重、東面入母屋造。西面社務所に接続、銅板葺

◆指定年月日

昭和 63 年1月 13 日 重要文化財指定

◆事業期間

令和3年6月～令和12年3月（予定）

◆事業費

1,765,000,000円

◆建物の説明

玉置山の山頂付近に境内を構える玉置神社の創立沿革は明らかではありませんが、享保 12 年（1727）には、玉置山高牟婁院と号したことが知られ、明治の神仏分離により玉置神社と改称されました。この建物は、もと高牟婁院の書院及び庫裡で、建立年代は棟札より文化元年（1804）頃とされています。内部は上々段、上段の間を取る平書院形式で随所に洗練された手法を残しています。室内の板戸には孔雀、旭鶴、牡丹唐獅子などが描かれ、豪華さを添えています。1階の懸造り部分には参籠所が設けられていて、当時の修験道の信仰の一つとして、参籠状況がわかる貴重な建物です。

◆修理に至る経緯

建物下部の石垣に破損が生じたため、建物が不同沈下し、特に石垣に近い程、沈下していました。また、その不同沈下に伴い、全体的に南方（石垣側）へ傾斜していました。また屋根の銅板葺は耐用年限を超えており、強雨時に度々雨漏りが発生し、その都度小修理を繰り返していました。また床組は台所の床束・根太、社務所縁廻り等が腐朽していました。

◆修理の流れ

これまで、彩色の剥落止め、天井・床・壁の解体を行い、素屋根の建設を行いました。この夏より屋根の解体を行い、野地、軒廻り、小屋組の解体を続けて行います。

来年以降は、床組や軸部の解体、発掘調査を行い、その結果を踏まえて基礎や石垣修理の工法を決定します。石垣の修理後は、基礎工事・組立工事へと続く予定です。

